



SkyVisualEditor Ver.25.0

リリースノート

リリース日: 2026 年 7 月 19 日

目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 SkyVisualEditor LC の新機能.....	4
1.1.1 カレンダー機能の追加(各種オブジェクトをカレンダー形式で表示)	4
1.1.2 フレキシブルデータテーブル:重複レコードの高度なマージ機能	6
1.1.3 フレキシブルデータテーブル:テーブル間のレコード連携が可能に	8
1.1.4 フレキシブルデータテーブル:絞込条件に「現在のユーザーと一致する」条件を追加	10
1.1.5 フレキシブルデータテーブル:項目移動の ON/OFF 設定	11
1.1.6 フレキシブルデータテーブル:フィルター設定値のレイアウト保存	12
1.1.7 LC 版 Studio:拡張スクリプトの設定が可能に	13
1.2 SkyVisualEditor VF の新機能.....	15
1.2.1 標準 AppComponent「添付ファイルアップロード」がファイルオブジェクトに対応.....	15
1.2.2 カスタムルックアップ画面:選択リストの表示形式変更(値表示) 重要な更新	16
2 免責事項	17

はじめに

本リリースノートでは、SkyVisualEditor の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。

既存の環境に影響を与える可能性のある更新について

- 本リリースノートには、ご利用中の環境に影響を与える可能性のある新機能および機能強化が含まれています。これらの項目には、見出しに **重要な更新** マークが付与されています。対象の機能をご利用の場合は、ご利用中の画面への影響について、十分にご確認をお願いいたします。

より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト

SkyVisualEditor ポータル : <https://d.terrasky.jp/SkyVisualEditorUserGuide>

SkyVisualEditor VF : <https://d.terrasky.jp/SkyVisualEditorVFUserGuide>

SkyVisualEditor LC : <https://d.terrasky.jp/SkyVisualEditorLCUserGuide>

1 リリース内容

1.1 SkyVisualEditor LC の新機能

SkyVisualEditor LC の新機能は、以下のとおりです。

1.1.1 カレンダー機能の追加(各種オブジェクトをカレンダー形式で表示)

カレンダー機能が追加されました。カレンダー機能には下記のような特徴があります。

- ・ 商談やキャンペーン、カスタムオブジェクトのレコード情報をカレンダー表示可能
- ・ Lightning アプリケーションビルダー上から配置してすぐ利用可能
- ・ 月/週/日の3つのビューで切り替え表示可能
- ・ 「ユーティリティバー」「レコードページ」「ホームページ」など様々な場所に配置可能
- ・ レコードページに配置すると、親に紐づく子レコードの表示が可能
- ・ 連携ボタンを設定することで、カレンダー上から様々なレコード連携が可能

通常カレンダーのような予定確認だけでなく、「取引先に紐づく契約レコードの終了日をチェックし、カレンダーから契約処理時の業務画面フローを実行する」といった、レコード連携に特化したカレンダーとして活用いただけます。

取引先 所有者
Edge Communications

取引先名
Edge Communications

親取引先

取引先番号
CD451796

取引先 部門

種別
Customer - Direct

業種
Electronics

年間売上
¥ 139,000,000

住所(請求先)
312 Constitution Place
Austin, TX 78767
USA
Austin TX

Customer Priority

評価
Hot

電話
(512) 757-6000

Fax
(512) 757-9000

Web サイト
<http://edgecomm.com>

株式コード
EDGE

会社形態
公開

従業員数
1,000

産業コード
6576

住所(納入先)
312 Constitution Place
Austin, TX 78767
USA

SLA

レコードページに配置すると、
親に紐づく子レコードの表示が可能
例:取引先に紐づく契約の契約終了日カレンダー

契約カレンダー 活動 関連

2026年6月

日 月 火 水 木 金 土

+ 31 + 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6

+ 7 + 8 + 9 + 10 + 11 + 12 + 13

+ 14 + 15 + 16 + 17 + 18 + 19 + 20

2026年6月15日

00000114 印刷表示

所有者: 大塚 太郎 | 期日: 06/15 | 状況: Activated |
契約終了日: 2027/06/14 | 契約 期間: 12 | 説明:
ヘルプデスク業務委託契約

00000115 印刷表示

所有者: 大塚 太郎 | 期日: 06/15 | 状況: Activated |

カレンダー上から「レコード詳細ページ表示」「編集
アクション呼び出し」「連携ボタンによるレコード連
携」などが可能

図 1.1.1-1 レコードページに配置したカレンダー機能の活用例

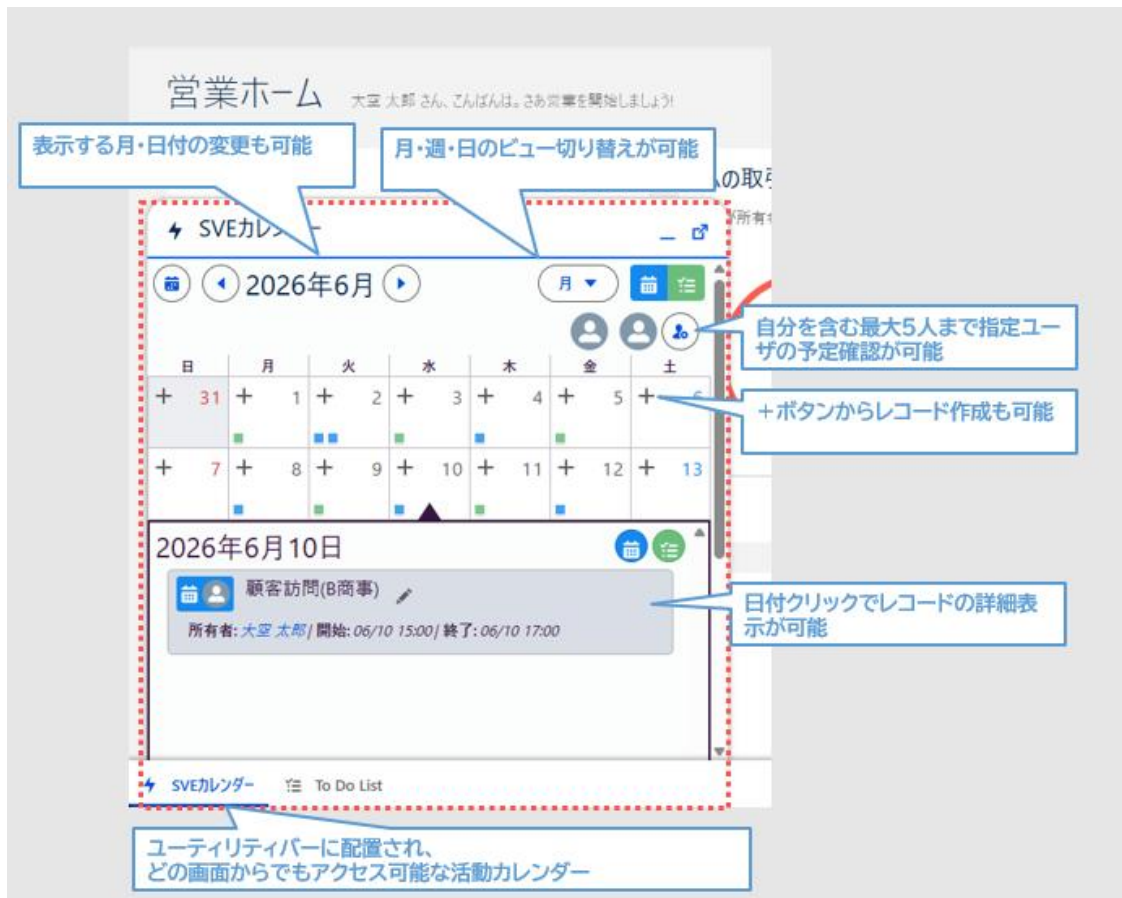


図 1.1.1-2 ユーティリティバーに配置したカレンダー機能の活用例

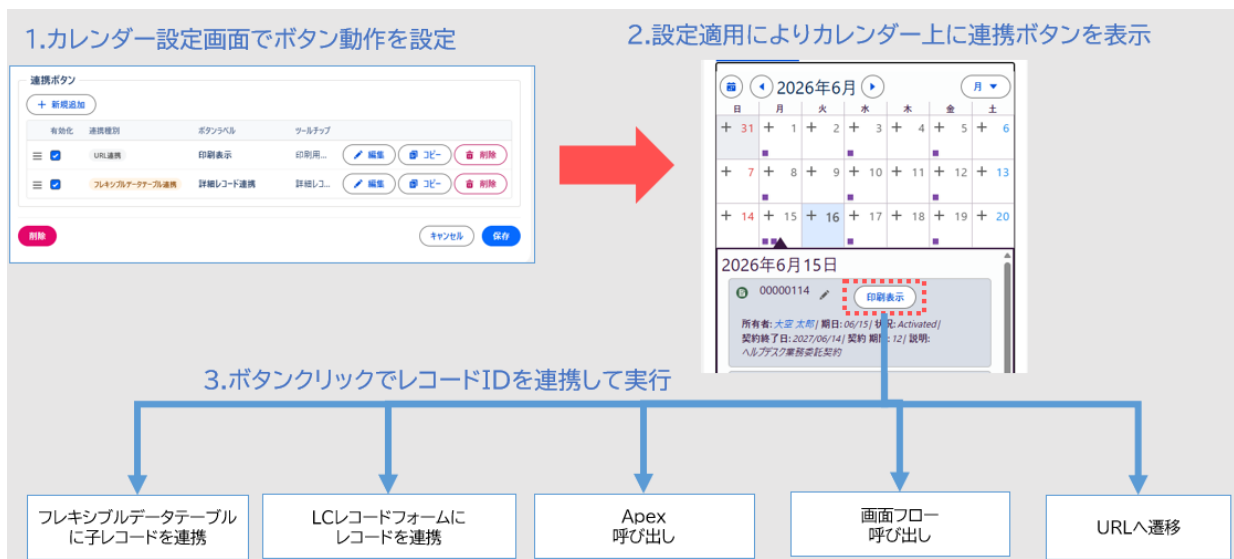


図 1.1.1-3 カレンダーの連携ボタン設定の流れ

1.1.2 フレキシブルデータテーブル:重複レコードの高度なマージ機能

フレキシブルデータテーブルで大量データ、各種オブジェクトに対応したマージ機能が利用可能になりました。

フレキシブルデータテーブルに表示しているレコードの中に重複レコードがあるか自動チェックして重複件数を表示します。またマージ画面で残すレコードや残す項目値などを設定することでマージ実行が可能です。

「あいまい一致チェック」「論理削除モード」など、フレキシブルデータテーブルのマージ機能特有の便利な機能を利用可能です。

レコード重複が検知されると「マージ」ボタンに件数が表示される
クリックで「マージ画面」が表示される

レイアウト管理 項目選択 レコード保存

1 行追加 一括編集 選択行削除 **マージ** レコード件数: 13

	取引先名	業種	取引先種別	取引
☐	Edge Communications	Electronics	Customer - Direct	Hc
☐	Burlington Textiles Corp...	Apparel	Customer - Direct	Wi
☐	Pyramid Construction Inc.	Construction	Customer - Channel	

マージ 重複レコード合計: 3件 詳細設定

取引先名 完全一致 重複検出

#	マスタ	対象	取引先名	取引先評価	取引先電話	業種	取引先種別
1	☒	☒	United Oil & Gas Corp.	Hot	(212) 842-5500	Energy	Customer - Direct
2	☐	☒	United Oil & Gas, UK	--	+44 191 4956203	Energy	Customer - Direct
3	☐	☒	United Oil & Gas, Singapore	--	(650) 450-8810	Energy	Customer - Direct

閉じる **このグループをマージ**

マージ画面でマージの詳細を設定する(残すレコード,項目値など)
「このグループをマージ」クリックでプレビューが表示され、
プレビュー確認後にマージ実行することで、レコード重複が解消する

図 1.1.2-1 フレキシブルデータテーブルにおけるレコード重複チェックとマージ実行の流れ

表 1.1.2-1 Salesforce 標準機能とフレキシブルデータテーブルのマージ機能の比較表

観点	Salesforce 標準 マージ機能	フレキシブルデータテーブル マージ機能
対象レコードの上限	3 件	100 件
対象オブジェクト	取引先、取引先責任者、リード、ケース	基本標準オブジェクト、カスタムオブジェクトは全て可能
重複の検出	各レコードページを開いた時にトーストメッセージで表示	フレキシブルデータテーブルで表示したレコードを自動チェック
重複レコードの推測形式	一致ルールでカスタマイズ設定	「完全一致」に加えて、表記揺れを自動補正する「あいまい一致」によるスマートなチェックが可能
重複チェック範囲	組織上の全てのレコード	フレキシブルデータテーブルに読み込まれているレコード(最大 5 万件)
テキストエリア項目の連結	不可	可能
マージ履歴	20 項目まで追跡可能 対象:取引先、取引先責任者、リード、ケース	Salesforce 標準と同様の挙動
子レコード紐づけの自動変更	可能	可能
論理削除モード	不可	可能
関連レコード件数の表示	不可	可能
マージプレビュー表示	不可	可能
マージ対象の一覧化	不可	可能



図 1.1.2-2 フレキシブルデータテーブル設定画面におけるマージ機能の有効化設定

1.1.3 フレキシブルデータテーブル:テーブル間のレコード連携が可能に

フレキシブルデータテーブルに新機能「連携ボタン」が追加され、クリックしたレコードを「他のフレキシブルデータテーブル(テーブル間連携)」や「画面フロー」など各種連携が可能になりました。

例として「テーブル間連携」を使用すると、「親子関係にある最大5階層のオブジェクトを1つのページ上でそれぞれフレキシブルデータテーブルで一覧化し、レコード操作する」といった活用が可能です。

また1つのフレキシブルデータテーブルに連携ボタンは最大 5 個まで配置可能であり、連携動作は5種類から選択可能です。



図 1.1.3-1 フレキシブルデータテーブルの連携ボタンにおけるテーブル間連携の活用例

表 1.1.3-1 フレキシブルデータテーブルの連携ボタンにおける連携動作一覧

No	連携動作	概要
1	テーブル間連携	紐づく子レコードを他のフレキシブルデータテーブルに表示する
2	LCレコードフォーム連携	LC 版 Studio からデプロイしたレコードフォームで表示する(既存機能)
3	画面フロー連携	組織で現在有効な画面フローを表示し(モーダル表示可)、レコード ID を連携
4	URL 連携	指定した URL に遷移し、レコード ID を URL パラメータとして連携
5	Apex 連携	指定した Apex クラスのメソッドを呼び出し

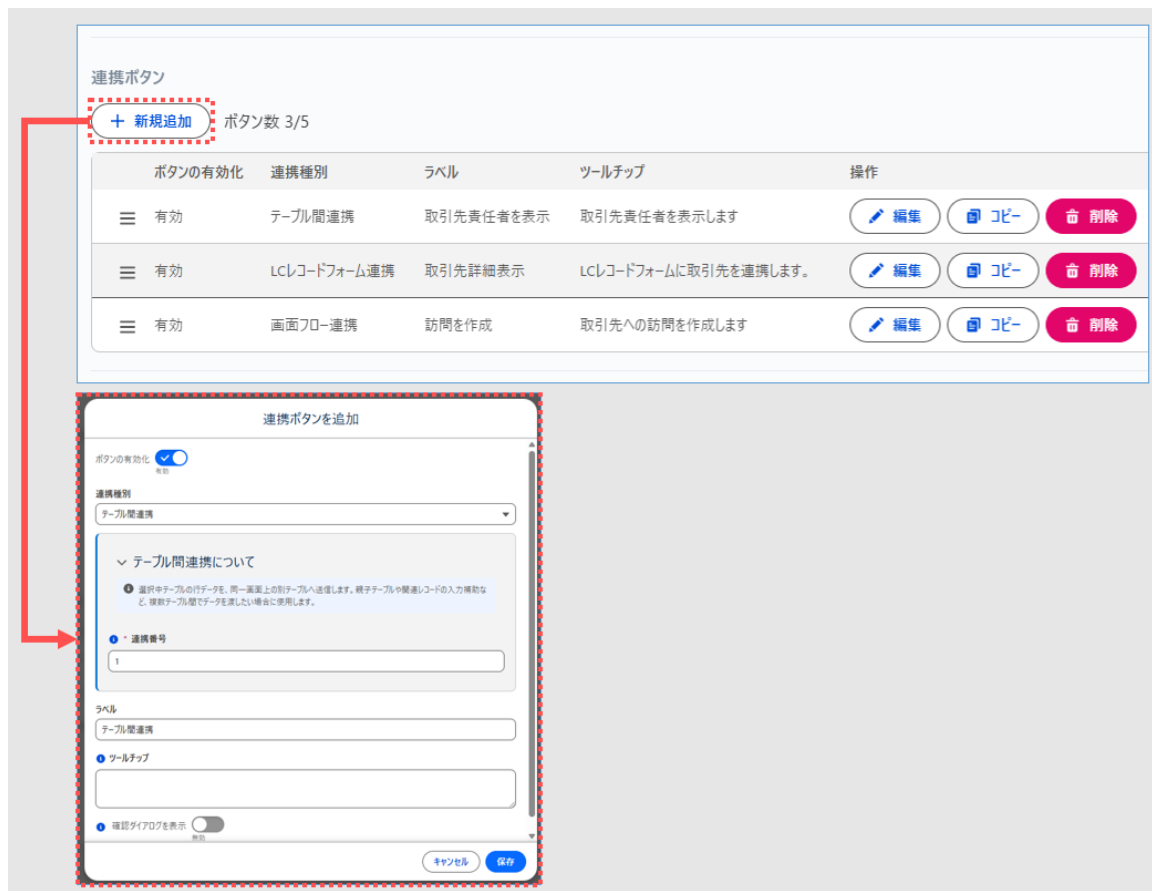


図 1.1.3-2 フレキシブルデータテーブル設定画面における連携ボタンの設定

1.1.4 フレキシブルデータテーブル:絞込条件に「現在のユーザーと一致する」条件を追加

フレキシブルデータテーブルの絞込条件設定に「現在のユーザーと一致する」演算子が追加されました。この演算子は絞込対象項目が「ユーザー」オブジェクトへの参照項目である場合に使用可能であり、「担当者が自分である場合」や「所有者が自分である場合」といった業務でよくあるレコードの絞り込みを実現できます。

絞込条件設定ウィザード

+ 追加

NO.	項目	参照先項目	演算子	値
削除	1	所有者 ID(OwnerId) ▼	オプションを選択 ▼	現在のユーザーと一致する ▼

現在のユーザーと一致する

絞込条件ロジック ⓘ

LIMIT句 (取得件数の上限)

最大50,000件まで設定可能

▶ クエリ実行テスト

キャンセル 戻る 保存

図 1.1.4-1 絞込条件設定における「現在のユーザーと一致する」演算子の設定例

1.1.5 フレキシブルデータテーブル:項目移動の ON/OFF 設定

フレキシブルデータテーブルの項目移動の ON/OFF 設定が可能になりました。

複数行・列の項目値を一括で変更する「範囲貼り付け編集」を行う際、誤って項目(列)を移動させると、貼り付け範囲がズれる原因になります。

本機能を ON にすることで、こうした誤操作による作業ミスを防止できます。



図 1.1.5-1 フレキシブルデータテーブル設定画面における項目移動の無効化設定

1.1.6 フレキシブルデータテーブル:フィルター設定値のレイアウト保存

フレキシブルデータテーブルのフィルター設定値がレイアウト管理対象となり、設定値の保存&読み込みが可能となりました。

業務でよく使用するフィルター設定値は予めデフォルトレイアウトとして保存しておくことで、フレキシブルデータテーブル表示時に自動的に反映され、フィルターによってレコードが絞り込まれた状態となります。



図 1.1.6-1 フィルター設定値のレイアウト保存の流れ

1.1.7 LC 版 Studio:拡張スクリプトの設定が可能に

LC 版 Studio に拡張スクリプト機能が追加され、任意のスクリプト実装およびカスタムボタンからのスクリプト呼び出しが可能となりました。

これにより、標準機能だけでは実現しきれない業務要件について、拡張スクリプトによるアプローチをご検討いただけます。

また [SkyVisualEditor LC ヘルプドキュメント](#)にて、拡張スクリプト機能でご利用可能なサンプルコードを公開しますので、お試しください。

⚠ 拡張スクリプト機能について

- 弊社が公開しているサンプルコードを除き、お客様により実装された拡張スクリプトの内容については、標準サポートの対象外となります。解析や検証は致しかねますのでご了承ください。

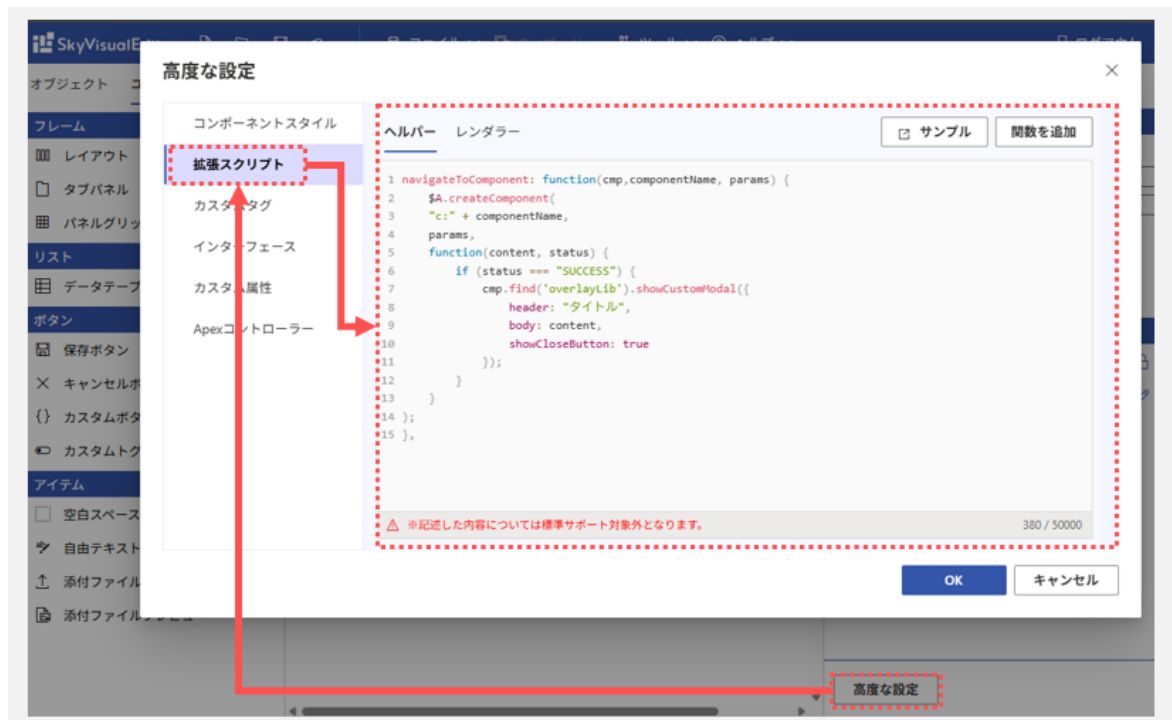


図 1.1.7-1 LC 版 Studio の拡張スクリプトの設定

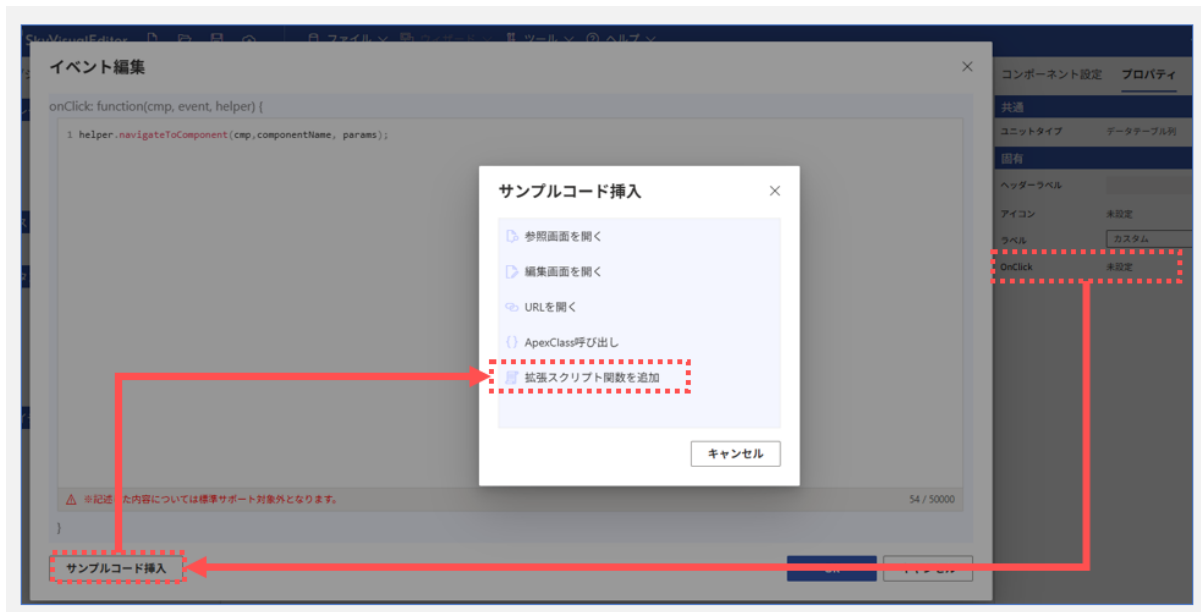


図 1.1.7-2 LC 版 Studio のカスタムボタンから拡張スクリプト関数を呼び出す設定

1.2 SkyVisualEditor VF の新機能

SkyVisualEditor VF の新機能は、以下のとおりです。

1.2.1 標準 AppComponent「添付ファイルアップロード」がファイルオブジェクトに対応

SkyVisualEditor 標準 AppComponent に「添付ファイルアップロード (LEX)」が追加されました。「添付ファイルアップロード (LEX)」では LightningExperience 標準である「ファイル」にアップロード可能となり、「アップロードしたファイルはリストビュー上でプレビュー表示可能」など、便利に活用可能です。

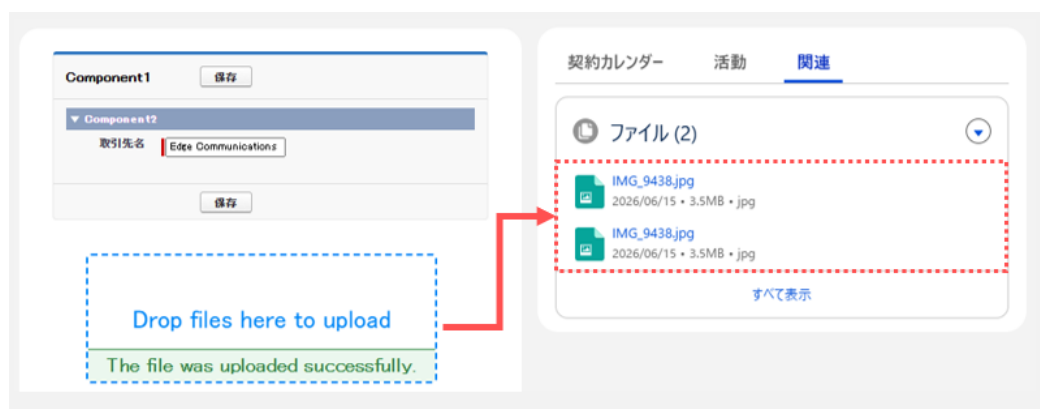


図 1.2.1-1 Salesforce 上で「添付ファイルアップロード (LEX)」によるアップロード

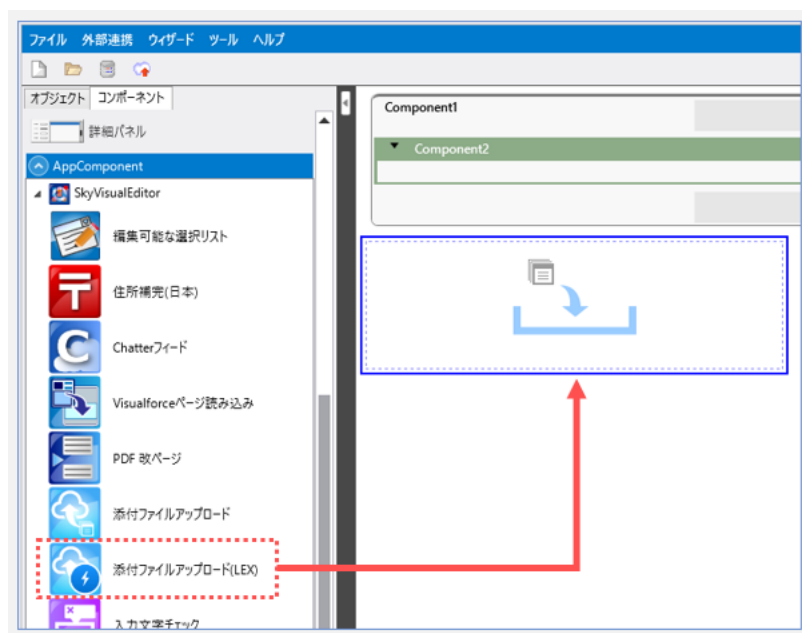


図 1.2.1-2 Studio 上における「添付ファイルアップロード (LEX)」の配置

1.2.2 カスタムルックアップ画面:選択リストの表示形式変更(値表示) 重要な更新

カスタムルックアップ画面で選択リスト項目を検索条件に配置した場合、

これまでは API 参照名で選択肢が表示されていましたが、Ver.25.0 から値で表示されるように仕様を変更しました。

これにより、ユーザー側で分かりやすく区別するために値を変更している場合も、カスタムルックアップ画面に正常に反映されるようになります。

カスタムルックアップ画面における選択肢表示

Salesforce組織の選択リスト値の設定

取引先	会社形態	選択リスト 値	API 参照名
編集 削除 無効化	公開	公開	Public
編集 削除 無効化	非公開	非公開	Private
編集 削除 無効化	子会社	子会社	Subsidiary
編集 削除 無効化	その他	その他	Other

図 1.2.2-1 選択リストの値を参照して表示ようになったカスタムルックアップ画面

2 免責事項

- ・ 本リリースノートは 2026 年 7 月 19 日時点のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます
- ・ SkyVisualEditor の利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://info.skyvisualeditor.com>

お問い合わせ窓口

<https://support.terrasky.co.jp/s/contactsupport>

製品ヘルプドキュメント・ナレッジサイト

[SkyVisualEditor ポータル ヘルプドキュメント](#)

[SkyVisualEditor VF ヘルプドキュメント](#)

[SkyVisualEditor LC ヘルプドキュメント](#)

[SkyVisualEditor ナレッジ](#)

SkyVisualEditor Ver. 25.0 リリースノート

発行日：2026 年 7 月 19 日（第 2 版）